



池袋から恩納村のサンゴを守ろう!



サンシャイン水族館 サンゴプロジェクト



サンシャイン水族館サンゴプロジェクトとは!

サンシャイン水族館(以下、水族館)は、池袋のサンシャインシティの中にある水族館です。恩納村のサンゴ礁の減少を防ぐべく、2006年から水族館が恩納村と一緒に進めているサンゴを守る活動がサンゴプロジェクトです。水族館で恩納村のサンゴを育て、殖やしたサンゴを海へ還す「サンゴ返還プロジェクト」と恩納村の海でサンゴを育て、産卵によりサンゴを殖やす「サンゴ礁再生プロジェクト」の2つの活動を軸にその現状や成果を報告しています。

(参考:サンシャイン水族館HP)

● サンゴ返還プロジェクト

恩納村の海に移植したサンゴが数年後に成長し、産卵で浮遊した卵が流れ着いた新天地で定着することで、サンゴ礁再生の一端を担うことを目標としています。

また、水族館に「母サンゴ」を輸送し、水槽内飼育をすることで、自然災害等で恩納村の海のサンゴが死滅した場合のDNAを補完する役割も担っています。

定期的に、年に数回恩納村に移植したサンゴの測定を水族館スタッフが実施しています。



(参考:サンシャイン水族館HP)



● サンゴ礁再生プロジェクト

2014年からスタートしました。サンゴの卵と精子を得るために、まずは親となるサンゴを育成するところからスタートします。そしてその親サンゴが産卵し、自然界でのサンゴの加入量を増やすとともに、得られる一部の卵を回収、サンシャイン水族館へと輸送し、サンゴの赤ちゃんを大切に育てます。成長した子サンゴは恩納村の海へ移植し、水族館の定期的な管理のもとで成長を見守ります。



(参考:サンシャイン水族館HP)



サンゴプロジェクト取り組み開始から18年!

今年で18年目を迎える、サンゴプロジェクトを発端にスタートした沖縄PRイベント「おきなわメンソーレフェスタ」が5月24日から開催され、恩納村もそれに合わせサンシャインシティと水族館にて恩納村「サンゴの村宣言」の取り組みをPRするブースを設置しました。

これからもサンゴプロジェクトを通し、恩納村の取り組みの更なる発展、連携を図っていきます。



お問い合わせ:企画課 ☎966-1201